同友しずおか

2025 10

VOL.563

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」
「企業も地域もよくなった！」

私の逸品

合同会社芳川商店

伊豆から全国へ――
“大上のおはぎ”で
笑顔をつなぐ

静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。

中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

●社長はいつも孤独
●経営の悩みを相談する仲間ができた
●経営の成功体験しか聞けない
●失敗談から勇気とヒントをもらえた
●目の前の仕事に追われる毎日
●将来の会社のビジョンができた
●指示待ち社員ばかり
●自発的な社員が増えた

その答え、同友会にありました。

会員募集中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒420-0857 静岡県葵区御幸町8 静岡三菱ビル6F FAX/054-255-7620 E-mail/doyu@szdoyu.gr.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の矜持（きょうじ）と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介（敬称略） 会員数 1072名

氏名	社名・事業	所属支部
木内規恵子（きうち きえこ）	キウチデザイン 各種デザイン、印刷、ホームページ	伊東
勝又 梨沙（かつまた りさ）	㈱ツナグデザイン Web 制作、Web・SNS マーケティング、グラフィックデザイン、動画制作	御殿場
ピリ 睦（ちか）	㈱ Lala 行政事業受託、健康経営支援	沼津
村松 佑樹（むらまつ ゆうき）	㈲村松鉄工所 機械設計、組立、取付調整、機械加工、精密板金、製缶、放電加工	富士
高垣内文也（たかがいと ふみや）	㈱ ENCHORD 介護と仕事の両立体制の構築支援、コミュニティ、コーチング	浜松

※新会員の写真は e.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyu からのご確認をお願い致します。

私の逸品

伊豆から全国へ――“大上のおはぎ”で笑顔をつなぐ

合同会社芳川商店（伊東支部）

代表　芳川 敬一氏

店舗内にて芳川氏

笑顔が集う食シーンを創造する

「食は人を笑顔にする」――そんな思いを胸に、合同会社芳川商店の代表・芳川敬一氏は、伊豆の国市で無添加・手包みのおはぎ専門店を立ち上げました。理念は「笑顔が集う食シーンを創造」。その実現のために、確かな原料選びと手間を惜しまぬ商品づくりを貫いています。

お茶からおはぎへ――原点と挑戦

芳川氏はかつて大手量販店向けにお茶の営業・マーケティングを担い、全国の茶菓子に触れてきました。その経験から「おはぎ」の奥深さに魅了され、20年前には宮城県にあるスーパーのPB「さいちのおはぎにあうお茶」を同社とともに開発。いつしか「自分の好きなおはぎを作りたい」との思いが芽生え、地元伊豆の国市で開業を決意しました。2023年5月、修行先の仙台「さいち」で学んだ技術を活かし、「伊豆大上のおはぎ」が誕生しました。

手包みだからこそ生まれる味わい

芳川商店のおはぎは、機械に頼らず、手でちぎり、手で握ります。もち米は宮城県産「みやこがね」、うるち米は伊豆産「ミルキークイーン」を独自比率で炊き上げています。さらに、小豆は北海道の十勝とやま農場の「シングルオリジン小豆」、きなこは山形県産の青大豆、ごまは粗挽きの粒立ちを活かすなど、素材選びに一切妥協がありません。こうした丁寧な工程が、温もりある風味と柔らかな食感を実現しています。

2025年10月、一般財団法人日本フードアナリスト協会の開催する食の審査会「ジャパン・フード・セレクション」において同社のおはぎ（あずき）が『グランプリ』を受賞しました。（「おはぎ」のグランプリは国内初）

アスリートを支える中間食・補食として

芳川氏は「おはぎはタンパク質・炭水化物・糖質のバランスに優れた理想的な中間食」と語ります。実際にトレイルランナーや自転車競技ナショナルチームへ提供し、アスリートからも高い評価を得ているそうです。「伝統食でありながら、未来を支えるエネルギーフード」としての可能性を広げています。

ブランドづくりと地域への想い

「伊豆に行ったら〝大上のおはぎ〟を食べたい」と言われるブランドを――それが芳川氏の掲げる2027年までの目標です。基本は店舗での対面販売にこだわり、空間演出も含めた総合ブランディングを重視すると語ります。また、地元保育園とのCD制作や紙芝居による食育活動など、地域とのつながりも大切にしています。

同友会との歩み

かつて優良取引先が同友会に所属していたことがきっかけで「自分も起業したら必ず入会しよう」と決めていた芳川氏。今、同友会で仲間と共に学び、地域に根ざした経営を実践しています。

ぜひYouTubeで「凸凹おはぎ」で検索してください！

取材・記事：足達 聖也氏（㈱スマートステイ・伊東支部）

伊豆の国市にある店舗「伊豆大上のおはぎ」

無添加・手包みおはぎ（きなこ・あんこ・ごま）

合同会社芳川商店

〒410-2312　伊豆の国市長者原1239-187
TEL：0558-80-9257
URL：https://izuohue-ohagi.jp/

設立　2022年
社員数　４名
入会年月　2025年６月
事業内容　無添加・手包みおはぎの製造販売

会員訪問記

「街の車屋さん」として、人に寄り添う三代目の想い

㈱米山モータース 代表取締役 米山 智詞氏（御殿場支部）

店舗前にて米山氏

昭和26年に創業した米山自動車は、70年以上にわたり地域に根差してきました。現在、三代目として会社を率いるのが米山氏です。祖父が始めた自動車整備販売業を受け継ぎ、社員16名とともに「お客様第一」を社是に掲げています。

「困ったらとりあえずうちに来てもらえればいい。そんな気軽さを大切にしている」と語る米山氏。大手ディーラーのような効率的な仕組みではなく、人と人の距離感を重んじる姿勢が同社の最大の特徴です。お客様一人ひとりの生活スタイルを丁寧に聞き取り、最適な車の選び方や整備方法を一緒に考える。その誠実な対応は、地域の「車のかかりつけ医」として親しまれてきました。

事業継承の決意

三代目を継ぐことには葛藤もあったといいます。実は兄がメカニック資格を持ち、二人で役割分担する構想もありましたが、さまざまな事情で米山氏が一人で代表を務めることになりました。「保守的な性格もあり、新しいものを付け加えるより〝守る〟ことを選んだ」と率直に話します。時代の変化に直面しながらも、創業以来の社是を大切にする姿勢に、責任感と誠実さがにじみます。

「社員が嫌な思いをしない職場でありたい」という思いから、社内には厳しいノルマを課していません。自由でフランクな雰囲気を重んじ、社員一人ひとりの裁量を尊重。結果としてお客様との距離も近づき、長年通い続けるファンが多いのは、社風そのものの温かさにあるといえます。

異業種交流での効果

同友会への入会は2年前、支部会員の㈱フィットコーポレーションの勝俣智史氏の紹介がきっかけでした。「地域で横のつながりが欲しかった」と話す米山氏。異業種経営者との交流から得た学びは多く、「自分にはない視点に触れることで考え方が広がる」と感謝を口にします。経営者同士の対話を通じ、時に励まされ、時に刺激を受けながら、日々の経営にも活かしているそうです。

今後の展望を尋ねると、言葉を選びながらこう答えました。「若い世代が車に馴染み、楽しんでほしい。車は危険もあるけれど、同時に生活を豊かにしてくれるもの。お客様にとって〝便利で楽しい存在〟であってほしい」

堅実で誠実、そして人とのつながりを何より大切にする米山氏。派手さはないが、着実にお客様に寄り添う姿は、まさに「地域に根差す経営者」のお手本といえます。変化の激しい時代にあっても、「街の車屋さん」として人に寄り添う姿勢は揺らぐことはありません。

㈱米山モータース外観

米山氏との取材

取材・記事：片野 貴一郎氏（㈱モスク・クリエイション・御殿場支部）
記事：土屋 信喜氏（エーストラベル㈱・御殿場支部）
芹澤 真氏（芹澤開発㈱・御殿場支部）
長島 和彦氏（㈱長島文宝堂・御殿場支部）

㈱米山モータース

〒412-0045　御殿場市川島田508-1
TEL：0550-82-0850
URL：https://yonemo.jp/
設立　1951年
社員数　16名（内パート３名）
入会年月　2023年10月
事業内容　自動車販売・整備

会員訪問記

小さな事を着実に積み重ねる経営 同友会は人にススメたいと心から思える会

㈲武田養鱒場
武田 雄一郎氏（富士宮支部）

養鱒場にて武田氏（右から２番目）と父（３代目・右）と取材陣

IT業界に身を投じるも、遡上して家業に帰ってきた四代目

平成6年生まれの武田雄一郎氏は、武田養鱒の四代目。大学を卒業してから29歳までIT企業に勤め、システム環境の整備やセキュリティの仕事に携わってきました。最先端の業界で経験を積む一方で、小さい頃から祖父や両親と過ごした「鱒池」での思い出が常に心の中にあり、休日には実家の養鱒場を手伝ってきたそうです。そして30歳を前に「本格的にこの道に進もう」と決意し、鱒が遡上するかのように外海から家業に戻ることになりました。

小さな事の積み重ね

入社後は、まず現場の老朽化した設備や会社の体制に目を向けました。老朽化の著しい建屋や機械等のメンテナンス・リニューアル、日常的な業務のやり方まで、得意のITも活かしながら、一つひとつ改善を積み重ねてきました。「非効率が嫌い」という性格もあって、当初は旧態依然のやり方の祖父や父親らと意見が衝突することも多かったといいます。それでも「会社を良くするために」という思い一つで理解を取り付け、改革案を積み重ねることで、会社がどんどん良くなっていくのを実感していきました。

経営者になるために

とはいえ、入社してまだわずか、経営の本質のなんたるかはわからないところが多くあった頃に、武田氏の義父である静岡支部会員の赤井秀敏氏（静岡石油㈱）から問答無用の「お前も同友会に入れ」の言葉を元に、何もわからないまま富士宮支部に入ったといいます。正直、当初は「めんどくさい」と感じることもあったそうですが、グループ会、例会に参加していく中で、次第に実践を継続する仲間や先輩会員から学べることの多さに気づいていきました。赤井氏から「同友会は辞書。あらゆる人から学び、あらゆる人に相談できる場だ」と教わっていたその言葉通りだと実感し、今では「人にすすめたいと思える会」だと確信しているそうです。

業界の危機を乗り越え、強みを作り出すために

コロナ期や、後継者不足等の課題から養鱒業界は淘汰が進んだ背景もあり、増えるニーズに対して、チャンスにもかかわらず安定した生産と供給が難しい状況が歯がゆいといいます。武田氏は生産量を増やすべく、まずは稚魚を増やしつつ、病気対策に力を入れ「できることは何でもやる」という姿勢で取り組んでいます。「経営課題は山積みだ」と語る武田氏ですが、「数年のうちには社員も増強したい」と語るなど、その表情は前向きでした。伝統を守りながら新しい工夫を取り入れ、次の世代へつなごうとする姿勢が印象的です。これから本業をさらに盤石にしていく㈲武田養鱒場の挑戦がますます楽しみです。

前向きに取り組む武田氏

取材陣のようす

取材・記事：田邉 元裕氏（㈱カボス・富士宮支部）
取材：大澤 秀明氏（㈲オオサワ商会・富士宮支部）
深澤 哲郎氏（㈱大五堂深沢文具・富士宮支部）

㈲武田養鱒場
〒418-0051　富士宮市淀師586
TEL：0544-26-2480
設立　1958年
社員数　4名
入会年月　2024年5月
事業内容　養殖業

第28回女性経営者全国交流会in東京

それぞれの個性を認め合い、思い合い、感謝し手を差し伸べ合える関係づくりを学ぶ

9月4日（木）～5日（金）　京王プラザホテル　参加者：1105名

第28回女性経営者全国交流会（以下、女全交）が京王プラザホテル（東京都）で開催されました。テーマは「GRADATION！咲き誇れ、じぶん色、みんな色」。当日は46同友会と中同協から1105名、静岡同友会からは40名参加しました。

1日目は11分科会に分かれ、テーマごとに学びを深め、懇親会では交流の輪を広げました。2日目の全体会では、広浜泰久・中同協会長の挨拶ののち、来賓を代表して岡田恵子・内閣府男女共同参画局長より挨拶いただきました。続いて全分科会の座長より、分科会での学びや気づきが共有されました。

広浜泰久・中同協会長の挨拶

記念講演は神山恭子氏（㈱船橋屋・代表取締役社長）から「この会社が好きだから～愛と行動で未来を創るリーダーシップ」をテーマに船橋屋との出会いから社内改革、社員教育で取り組んできたことなどを参加者に伝えました。

その後、小池百合子・東京都知事から開催を祝してご挨拶をいただき、橋本久美子・中同協女性部連絡会代表が「経験量は質を高める。自分で自分の枠を決めがちだが、それを超えて社会を変えましょう」と締めくくりました。

今回は分科会報告者や座長、室長、グループ長を全て女性が担いました。メインテーマ「GRADATION！咲き誇れ、じぶん色、みんな色」にあるように、それぞれの個性（色）を認めあい、想いあい、感謝しあい、手を差し伸べあえる関係づくりが大切と再確認する2日間となりました。

以下、2名の参加者から感想をいただきましたので共有します！

〈参加者感想〉

今年の女全交は『GRADATION！』を合言葉に、個性を認め合う社会へ願いを込めた開催。静岡県からは、なんと過去最大の40名が参加！「女性ばかりで本当に深い学びになるのか？」と懐疑的に臨んだ方も、壇上から飛び出すせきららトークに圧倒され、女全交の虜に。今回は『報告者・座長・室長、さらに討論グループ長までもが全員女性』という歴史的な会で、2日目には小池百合子東京都知事も来賓としてご登壇されていました。

私が参加した分科会は、アメリカ在住のまま神奈川県に本社を置くIBSジャパン㈱望月氏の報告で、組織づくりへの転機となった社員のひとことに胸を打たれました。さらにグループ討論では「自分の幸せ、置き去りにしていませんか？」を語り合い、社員の幸せを優先しがちな私たち自身を見つめ直す貴重な時間に。全体会では、くず餅老舗船橋屋の神山氏が一般入社から社長に登り詰めた類稀なる会社愛を語り、感動に包まれました。

女性経営者同士の出会いと学びに心躍る2日間。来年は6月4日～5日神戸で開催。ぜひ一緒に体験しましょう！

深沢 麻衣子氏（㈲深沢製帆店・県女性部会長）

第5分科会の徳武聖子氏（徳武産業㈱）による報告「声なき声をカタチにする 徳武流モノづくりの突破力」に参加しました。

父から受け継いだ「社員を大切にする」「お客様に寄り添う」「地域から喜ばれる会社にする」という三つの言葉を軸に、自身の豊かな人生経験を活かした経営姿勢が語られました。ものづくりにとどまらず、人づくりを通して会社と自身を成長させ、顧客・社員・社会の三方に良い循環を生み出す姿勢に深く感銘を受けました。自分らしい経営を貫きながら、世界に貢献する企業を目指すその姿は、理念と実践が見事に融合したものであり、温かさと力強さを兼ね備えた感動的な発表でした。今回初めての全県参加でしたが、初対面の方々と有意義な意見交換ができた貴重な機会となりました。お声がけ頂いた宮地さん、ありがとうございました。

多々良 愛理氏（整体院 結・志太支部）

懇親会にて静岡メンバー集合写真

パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言式

9月9日(火)　静岡県庁

「パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言式」が執り行われ、鈴木康友県知事はじめ、行政機関、経済団体、労働団体、金融団体の代表者15名が出席し、共同宣言書に署名しました。同友会からは簑威頼代表理事が参加しました。

「共同宣言」の目的は「相互に連携及び協力を行い、パートナーシップ構築宣言の取組みを通じ、労務費、原材料費、エネルギーコスト等の上昇分を適切に価格へ転嫁する機運を醸成し、適正な取引を進めるとともに、サプライチェーンの維持・強化、中小・小規模事業者の付加価値や稼ぐ力の向上、賃上げに繋げることによって、地域経済の活性化に寄与すること」としています。これから宣言しようと検討している会員皆様は、QRコードより、登録方法等ご確認頂けます。

パートナーシップ構築宣言ポータルサイト

※「パートナーシップ構築宣言」…サプライチェーンの取引先や付加価値向上を図る事業者と連携・共存を進めることで新たなパートナーシップを構築することを発注者の立場から企業の代表者が宣言するものです。9月9日時点、全国7万7千社・県内3900社強が宣言しています。優遇措置として、県補助金の加点措置や公契約条例に基づく優先発注等があります。

「パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言」
共同宣言式 出席者

区分	団体名	職名	氏名（敬称略）
行政機関	静岡県	知事	鈴木康友
	経済産業省関東経済産業局	局長	佐合達矢
	財務省東海財務局 静岡財務事務所	所長	小田川浩二
	厚生労働省静岡労働局	局長	國分一行
経済団体	一般社団法人 静岡県商工会議所連合会	会長	岸田裕之
	静岡県商工会連合会	副会長	神田優一
	静岡県中小企業団体中央会	会長	山﨑亨
	一般社団法人 静岡県経営者協会	副会長	植田光紀
	静岡経済同友会静岡協議会	代表幹事	今田智久
	静岡経済同友会浜松協議会	代表幹事	中野勘次郎
	静岡経済同友会東部協議会	代表幹事	三井剛士
	静岡県中小企業家同友会	代表理事	簑威頼
労働団体	日本労働組合総連合会 静岡県連合会	会長	角山雅典
金融団体	一般財団法人静岡県銀行協会	会長	八木稔
	一般社団法人 静岡県信用金庫協会	会長	田形和幸

第22期経営指針を創る会 理念発表会
自身・自社と向きあい創りあげた経営理念を発表

9月6日(土)～7日(日)　エスプラット フジスパーク

第22期経営指針を創る会 経営理念発表会を2日間の合宿で開催。10名の受講生がこれまでの5講を通して、自身・自社の歩みや大切にしている価値観、社員に対する姿勢などを同期生や修了生と本音で語りあい、つくりあげた経営理念を発表しました。

〈受講生より理念発表会を経ての感想を頂きましたのでご紹介します！〉

実務経験がないことに起因する自信のなさや自分の甘さを感じながらここまで受講してきました。今回の合宿で丸2日間文字通り、寝る間も惜しんで事業のことだけを考え続けることができました。修了生の皆さんから視座の高さや思いの深掘りなど様々な角度からのご指摘を受けました。自分が本当に大事にしているものは何なのか、どんな会社にしたいのかを自問自答し、同期と話し合い、少しずつ自分の芯にあるものが見えてきました。受講生も修了生も熱量をもって語っているのを聴いているうちに自分の熱量も上がっていくのを感じました。私はなんの覚悟もないまま、義父から承継しましたが、覚悟の尻尾が見えた気がします。創業50年を迎えた山本電機㈱をさらに発展させ、従業員と一緒に堂々と歩んでいけるよう覚悟と経験を深めていきます。最後に創る会22期で自社だけでなく、同期の会社のことも本気で考えてくれる最高の仲間と出会えたことが一番の喜びです。同期一丸となって切磋琢磨し、残り4講を本気で考え続け、修了後も明るく進んでいけると確信しています。

森 一直氏（山本電機㈱・榛南支部）

本音で語りあった受講生と修了生

同友しずおか
静岡県中小企業家同友会
コミュニケーションマガジン
2025年10月10日号　通巻563号　定価200円

10月・11月　DOYU CALENDAR

10月16日㈭〜11月15日㈯

10月 16日(木)	富士例会（19:00　ロゼシアター）
17日(金)	県例会企画委員会主催　グループ長体験会 （19:00　浜松市福祉交流センター） 県女性部ダイヤモンドカレッジ （10:00　同友会事務局） 県共育委員会主催　仕事の進め方・報連相力アップ社員研修（9:50　レイアップ御幸町ビル）
20日(月)	第９回全県経営フォーラム実行委員会 （18:00　ZOOM）
22日(水)	志太例会（18:30　みんなの公民館　まる）
23日(木)	県理事会（15:00　同友会事務局＆ZOOM）
24日(金)	第22期県経営指針を創る会⑨ （19:00　ペガサート）
27日(月)	県広報情報化委員会主催　オープン勉強会 （19:00　同友会事務局＆ZOOM）
28日(火)	県例会企画委員会（20:00　ZOOM） 県組織増強委員会 （18:00　同友会事務局＆ZOOM） 中同協定時総会in静岡　実行委員会 （18:00　同友会事務局＆ZOOM）
30日(木)	県にじいろ共生委員会主催　西部地区関係機関との意見交換会（中遠例会） （18:30　クリエート浜松）
31日(金)	榛南例会（研修旅行） （7:00　㈱旭ファクトリーほか）

11月 4日(火)	県青年部連絡会 （18:00　同友会事務局＆ZOOM）
6日(木)	県正副代表理事会 （15:00　同友会事務局＆ZOOM）
7日(金)	県共育委員会（18:30　ZOOM）
8日(土)	志太支部40周年記念事業 （14:00　はれの季　小杉苑）
12日(水)	御殿場例会 （19:00　エピ・スクエア）
13日(木)	伊東例会（19:00　NPO法人えん）
15日(土) 〜16日(日)	第22期県経営指針を創る会⑩ （9:00　ペガサート、クーポール会館）

《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》

台風15号　静岡県内を直撃
支えあい、励ましあい、援けあい、難局を乗り越える

９月５日（金）の台風15号により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

静岡県内では暴風や記録的な大雨となり、河川の増水、低地の浸水及び土砂崩れ、さらには牧之原市や吉田町など複数の市町で竜巻などによる突風が発生し、多数の会社・家屋等で屋根や外壁、電柱の折損や田畑などの物的被害、車両の横転による人的被害も発生しました。特に被害の大きかった地域では、依然として復旧・復興に取り組んでいる会員の方々が多くおられることと思います。企業の存続、地域の存続のために、互いに支えあい、励ましあい、援けあい、この難局を乗り越えていきましょう。

第39回全県経営フォーラム

やらまいか！

わたしたち（中小企業家）の戦い（チャレンジ）が
ここから始まる！！

浜松にて会員皆さまをお待ちしております。ぜひご参加ください!!

詳しくは公式ホームページをご確認ください。→

日時:2025年11/27(木)　13:00〜20:00
会場:ホテル クラウンパレス浜松
会費:14,000円

訃報　９月に静岡同友会会員の佐藤覚氏（㈱アルク　富士宮支部会員）がご逝去されました
謹んでご冥福をお祈りいたします
10月に静岡同友会会員の森下孝一氏（㈱森下建設　富士宮支部会員）がご逝去されました
謹んでご冥福をお祈りいたします

発行所：静岡県中小企業家同友会　doyu@szdoyu.gr.jp ／ 編集者:県広報情報化委員会
〒420-0852 静岡市葵区紺屋町4番8 ガーデンスクエア第3ビル5階B　TEL：054-253-6130（代表） FAX：054-255-7620　http://www.szdoyu.gr.jp